

図画工作科 学習指導案

指導者 岩田 道人

1 学年 第2学年1組 男子7名 女子9名 計16名

2 題材名 「おとどけします たのしい えてがみ」 A表現(2)

3 題材について

(児童の実態)

- ・1学期のアンケートでは、9割以上の児童が、図画工作科で作品づくりに取り組むことが好きで、作り出す喜びを感じていることがわかった。しかし、アイデアが浮かばなかったり、作品の完成までに時間がかかったりすると、ていねいに作品づくりを続けられない児童も見られた。
- ・友人の作品や自分の作品について、肯定的なとらえ方ができる。

魅力ある題材

(題材について)

- ・児童が自分の好きな絵を描いたり、はり絵を加えたりすることで、意欲的に活動することができる。
- ・教科書を参考に、形や色の工夫に気付かせることで、自分の作品のイメージをもたせ、自分の気持ちが伝わりやすい手紙をつくることができる。
- ・お互いの作品を見合うことで、友人の作品のよさを取り入れた絵手紙をつくるができる。

認め合い 学び合い

(指導に当たって)

- ・作品例や作品を見やすくするために、教室前のテレビ画面に映すなどの工夫を行う。
- ・教科書に加え、実物の作品例を示し、絵の形や色の工夫に気付かせ、自分が作品をつくる際の参考にさせる。
- ・作品づくりの過程の中で、お互いのアイデアや技能などを交流し合い、参考になるものは、自分の作品に生かすようにさせる。

表したいことを見付けて、身近な材料や用具を使って表現できる子

つくりだす喜び ひびき合う楽しさ

4 題材の目標

造形への 関心・意欲・態度	生活の中から、楽しいと感じたこと、好きだと思ったこと、発見したことなどを、楽しみながら絵手紙に表わそうとする。
発想や構想の能力	伝えたい相手に、自分の気持ちがよく伝わるように、絵の描き方やはり絵について工夫することができる。
創造的な技能	表したい内容に合わせて、身近な材料や用具を使って、絵手紙に表すことができる。
鑑賞の能力	友人作品のよさを認め、自分の活動との違いに気付くことができる。

5 題材の評価規準

ア 関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
生活の中から，楽しいと感じたこと，好きだと思ったこと，発見したことなどを，楽しみながら絵手紙に表そうとする。	伝えたい相手に，自分の気持ちがよく伝わるように，絵の描き方やはり絵について工夫している。	表したい内容に合わせて，身近な材料や用具を使って絵手紙に表している。	友人の作品のよさを認め，自分の活動との違いに気付いている。

6 指導と評価の計画（全4時間）

次	学 習 内 容（時数）	評 価				評価規準	評価方法
		関	発	創	鑑		
第一 次	1 生活の中から，誰かに伝えたいことには，どんなことがあるのかを考え，絵手紙づくりの計画を立てる。 (1)					関)生活の中から，楽しいと感じたこと，好きだと思ったこと，発見したことなどを，絵手紙にして表そうとする。	行動観察 ワークシート
第二 次	2 どんことを知らせる手紙にするか考え，伝えたいことを絵に表したり，はり絵を工夫したりして，絵手紙をつくる。 (2)本時2 / 2					発)伝えたい相手に，自分の気持ちがよく伝わるように，絵の描き方やはり絵について工夫している。 創)表したい内容に合わせて，身近な材料や用具を使って絵手紙に表している。	行動観察 児童作品 行動観察
第三 次	3 扉をつくって，絵手紙を完成させ，お互いによさや工夫を鑑賞し合う。 (1)					鑑)友人の作品のよさを認め，自分の活動との違いに気付いている。	行動観察 ワークシート

7 本時の目標

手紙の雰囲気に合わせて絵の描き方などを工夫し、絵手紙をつくることができる。

<表現(2)イ・ウ>

8 本時の展開 指導すべき点(しっかり) 思考力(じっくり) 発信力(はっきり)

学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1 本時のめあての確認		
<p>手紙の雰囲気に合うように、絵などの工夫をしながら、絵手紙をつくろう。</p>		
<p>2 本時の学習内容の把握</p> <p>絵の描き方を考えながら、絵手紙をつくるというねらいをはっきりもつ。</p>	<p>作品例を提示して、絵の描き方やはり絵などについて、具体的なイメージを持たせる。</p> <p>提示された参考例について思ったことを発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に、絵手紙に表したい素材の基になる物などについては、自分で用意をさせておく。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content;"> <p>[共通事項]</p> <p>絵やはり絵の具体的な形や色を基に作品のイメージをもたせる。</p> </div>
<p>3 つくり出す活動</p> <p>絵を描いたり、絵をはったりしながら、絵手紙をつくる。</p>	<p>実際の絵の描き方、はり絵の位置について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のつくりたいものを表現しにくい場合には、型紙などを活用させる。 ・絵手紙を受け取る相手がどんな気持ちをもつかを想像させ、よい絵手紙をつくりあげていこうという気持ちをもたせる。 	<p><発想や構想の能力></p> <p>伝えたい相手に、自分の気持ちがよく伝わるように、内容を考えている。</p> <p>(行動観察)</p> <p><創造的な技能></p> <p>表したい内容に合わせて、身近な材料や用具を使って絵手紙に表している。</p> <p>(行動観察・児童作品)</p>
<p>4 本時のまとめ</p> <p>学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友人の作品のよさに気付かせる。 ・自分の手紙の雰囲気に合った作品になっているかどうか、確かめさせる。 	